

## 丸亀市（仮称）みんなの劇場整備計画（案）に係るパブリックコメントの実施結果

新しい市民会館「（仮称）みんなの劇場」の基本理念（設置目的）を達成するための、基本方針（戦略）や事業方針をまとめたうえで、劇場に必要な規模や機能、管理運営に関する方針等についてまとめた「丸亀市（仮称）みんなの劇場整備計画（案）」を作成し、案に対する市民の皆様のご意見等をお伺いするパブリックコメントを実施しました。

その結果、市民の皆様から 25 通 36 件のご意見をいただきました。いただいたご意見と丸亀市の考えは下記のとおりです。

なお、提出いただいたご意見は、ご意見の趣旨を損なわないように要約しました。

### 1. 概要

#### ①募集方法

募集期間	令和2年2月14日（金）～3月16日（月）
意見提出の方法	郵送、FAX、メール、持参
案の公表場所	市ホームページ、市役所案内所、都市計画課、広聴広報課情報公開コーナー、市民総合センター、市民センター、コミュニティセンター、図書館、保健福祉センター、アイレックス、生涯学習センター

#### ②提出数、提出方法、意見数

提出数	25 通
提出方法	郵送（0 通）、FAX（0 通）、メール（2 通）、持参（23 通）
意見数	36 件

#### ③項目別意見数

全体に関する意見	3 件
第1章 みんなの劇場の基本方針に関する意見	2 件
第2章 組織計画に関する意見	6 件
第3章 施設計画に関する意見	23 件
第4章 管理運営計画に関する意見	1 件
第5章 評価計画に関する意見	0 件
第6章 整備方針に関する意見	0 件
その他の意見	1 件
計	36 件

## 2. いただいたご意見と丸亀市の考え

### (1) 全体に関する意見【3件】

No.	ご意見	市の考え
1	■この計画案はよくできている。	
2	■（仮称）みんなの劇場整備計画案を拝見し、第1章から第6章までよくまとめられていると思う。	
3	■丸亀市（仮称）みんなの劇場は、丸亀市において様々な角度から市民の人生を豊かにすることができる可能性を秘めた場所となると感じた。	

### (2) みんなの劇場の基本方針【2件】

No.	ご意見	市の考え
1	<p>■劇場は世界とつながる扉である。国境や国籍等、あらゆるボーダーを越えて人と人が繋がろうとする力がアートにはあるからだ。この扉は入口でもあり出口でもある。一方的に招聘するのではなく、世界に持ち出すことのできる文化力を目指したい。もちろん国境を越えて作品作りをし、互いの国を行き来できるような文化が育つには時間がかかるが、田舎での生活を息苦しく感じ、都会に出てしまう若者が戻るための希望や、面白いまちづくりにつながると思う。芸術監督制度を取り入れるのであれば、世界と行き来できる作品を生む劇場になることは夢ではない。</p> <p>また、将来的に人口減少に加え、海外からの移住者はますます増えてくる。市内で働く人々や今後生まれる子供たち、若者は、異文化を持つ人々と生活を共有することとなる。互いを認め合い、共存するためにも世界との交流を視野に入れることは、長期的な視点で役立つと思う。</p>	<p>ご意見のとおり、あらゆるボーダーを越えて人と人がつながろうとする力がアートにはあると考えています。</p> <p>「基本方針」のうち、P9 から P11 に記載した、「2. 異なる価値観や文化と出会い、自分を再発見する」、「3. 人・ことに興味を持ち、対話を広げる」、「4. 出会いからつながりを、集いから交流を創出する」ことは、自分を知り、相手を知り、違いを認識し、その違いに橋を架けられる事に重点を置いています。</p> <p>また、異なる文化や価値観があるのは、日本と世界という大きな視点がある一方で、小さな地域の中でも、子育て中の人、介護を必要とする家族がいる人、身体や精神にハンディキャップを持つ人、一人暮らしの若者等の生活環境や、それぞれに持つ価値観が異なるというような視点も含まれていると考えています。多くの人が多様性を尊重しながらも、それぞれにつながり方を見つけ出せるような寛容性や創造力を育み、国籍や年</p>

		<p>齢、性別、障害のあるなし等に関係なく、様々な主体が関わり合えるような活動が連綿と続いていくことが、まちの文化となり、固有のアイデンティティにつながっていくと考えています。</p>
2	<p>■（仮称）みんなの劇場を安全に、責任を持って使用する文化団体や個人にはスキルと経験が求められる。現状、この劇場を使いこなせる団体は県内でも数少ないと思われる。だからこそ、「このホールを誰が使うのか」、「誰に使えるようになってもらいたいのか」という視点を取り入れてほしい。</p> <p>上演のために劇場を使用するのは「プロのアーティストや各文化・芸術団体、専門家」であり、きちんと使えるようになってもらいたいのは「アマチュア・若手アーティストや市民団体」ではないか。</p>	<p>ご意見のように、（仮称）みんなの劇場の各施設や設備を使いこなすには一定の知識が求められるものもあります。そのため、P14 から P16 に記載した「事業方針」において、劇場をどのように利用していくか、又使用してほしいかを示しています。</p> <p>例えば、「2. 創造事業」では、プロのアーティストと一緒に市民が作品を創造、上演する体験を得ることは、どのように作品が出来上がっていくか等、作品ができるまでの過程を体験したり、上演するために必要な準備や裏方の役割の重要性等を知ることなども事業の成果となります。</p> <p>また、「3. 育成事業」や「6. 貸館事業」では、具体的に（仮称）みんなの劇場を利用するアーティストや文化活動を行う方に対しての支援や技術的なアドバイスを行う等、それぞれのレベルやニーズに合わせた事業を組み込んでいくこととしています。</p>

**(3) 組織計画に関する意見【6件】**

No.	ご意見	市の考え
1	<p>■この計画案が実行できる人材育成をお願いしたい。そのためには市の関与が必要であると考える。</p>	<p>公の施設の管理運営は、行政による直営か、指定管理者制度の導入を選択することになっています。</p>
2	<p>■人材確保について、指定管理者制度を検討しているようだが、民間から適応能力のある人を見つけるのは難しいのではないか。</p> <p>また、各コミュニティセンターの運営は指定管</p>	<p>管理運営を、人事異動が行われる市の直営とした場合、技術や経験、文化芸術関係との人脈や地域とのつながり等、文書や言葉では引継ぎができないものが非</p>

	<p>理者制度によるものだが、仕事内容面や待遇面について不満が多いとの事である。このような状況では、一般からの応募も少ないと考えており、行政の直営しかないと考える。</p>	<p>常に多く、人材育成が非効率であることや、技術職の新たな確保等、多くの課題が考えられます。</p> <p>そのため、民間の自由度を最大限に活かすことで効率的かつ適切な管理運営を行える指定管理者制度を導入する予定としており、指定管理者と市が協力することで適正な管理運営ができる仕組みを引き続き検討していきます。</p> <p>また、劇場に必要な人材は、企画制作、施設・設備の運用、組織・事業の管理、実演芸術の創造など、専門的な能力を持った人材が必要となる他、(仮称)みんなの劇場の基本理念を達成するために、特に必要な能力や人材を P17 に示しました。これらの能力を持った人材を集めることは容易ではなく、(仮称)みんなの劇場の基本理念や基本方針を理解する人材が、働き甲斐を持てる労働環境を作ることも重要な要素であると考えております。次年度から運営組織や人材について具体的に検討を進めます。</p>
3	<p>■第2章Ⅱの4 教育機関との連携を大切に考えていきたい。新しくできるホールも子供たちに様々な芸術に触れられる会館を目指してほしい。そして、世界で活躍できる人材が多く育ってくれればと願う。</p>	<p>ご意見のとおりであると考えています。P21 に記載した教育機関との連携を進めつつ、それぞれの事業の中で、子供たちが様々な舞台芸術に触れられる機会を増やしていきます。</p>
4	<p>■文化協会と中央公民館クラブ等の活動が継続してできるように考えてほしい。</p>	<p>P22、5 市民団体等との連携の中にも記載しましたが、市民の主体的な活動が連綿と続いていくことが、まちの文化となり、固有のアイデンティティにつながると考えています。丸亀の文化を支え、育てる丸亀市文化協会や丸亀中央生涯学習クラブ等が、劇場や地域で行う様々な活動が継続できることは重要なことであると考えています。</p>

5	<p>■整備計画（案）を具体的に実行、継続するために、行政だけではなく活動をする市民の育成が必要だと感じた。「何を言っても変わることはない」と半ばあきらめ気味の若者を巻き込むために、柔軟な発想と、多くの手法を用いた広報により、誰もが関与していることを意識づけることができるシステムが必要だと思う。</p>	<p>（仮称）みんなの劇場が具体的に事業を行い、基本理念を実現するためには、市民や市民団体等の連携が大切な要素になると考えています。P22「5.市民団体等との連携」にも記載しましたが、市民や市民活動団体が参画できる仕組みと体制を構築するとともに、地域と劇場をつなげる市民や市民団体等を養成していくこととしています。</p>
6	<p>■芸術監督の役割を果たす芸術責任者の配置について、ジャンルにより偏りのないようあらゆるジャンルに見識のある有識者の方に担っていただきたく、または複数の監督の配置を望む。</p>	<p>ご意見のとおり、芸術監督については幅広いジャンルに見識のある方に担っていただく必要があると考えています。</p>

#### (4) 施設計画についての意見【23件】

No.	ご意見	市の考え
1	<p>■お城まつり、文化祭、お城フェスタ等、市の行事の協賛茶会、月釜など100～150人程度の方をお迎えする規模の和室をぜひ造ってほしい。公共施設での和室の存在意義は多大だと思う。これからの子供たちの為にも伝統文化をつなぐ城下町丸亀における新しい会館の中身の充実をお願いする。</p>	<p>和室については、旧丸亀市民会館やアイレックスのみならず、他市類似施設においても利用率が低くなっており、改善策に苦慮していることが多いのが現状です。</p> <p>また、現在計画中の事業規模では、大規模な和室を専用で整備することは困難であると考えています。</p>
2	<p>■施設内にお茶会会場として利用できる畳敷きの和室空間（お茶会のための茶道具や水等を用意する「水屋」設備を含む）を設けること。理由は以下のとおり。</p> <p>お茶会は、これまで丸亀お城まつりの時期等に併せ、旧丸亀市市民会館、丸亀市生涯学習センター等において毎年開催され、日本古来の文化の伝達・継承と地域交流の場としての役割を担ってきた。茶道の本質は、客人に対する「おもてなし」の心であり、心を込めた接待を受けることによって、心が癒され、明日への活力が養われる。それは「（仮称）みんなの劇場」の基本理念や方針に合致する。</p>	<p>一方で、伝統文化を継承していくことは極めて重要であると考えており、ワークショップルームなどを伝統文化の活動にも利用できるしつらえを基本設計時に検討していくと同時に、関係各課と協議を進めながら、伝統文化の活動が行える場の確保に努めていきます。</p> <p>なお、整備計画 P31、2) に「一部のワークショップルーム又は練習室に、和室としても利用できるようなしつらえを検討します。」と加筆します。</p>

	<p>また、お茶会は、別の催しに訪れた人が喫茶店代わりに立ち寄るのにも適した催し事であり、これまで茶道に無関心であった人が興味を持つようになり、それを起点に新しい対話を広げていくことも期待できる。ただし、できるだけ多くの人がこのような機会に接するためには、お城まつりのような人出の多い時期にその周辺施設で実施する必要がある、中心市街地から遠く離れた施設や、他市町の施設で実施しても効果は薄い。</p> <p>さらに和室空間は、乳幼児を含む全市民の憩いの場所として、また万一の災害時の一時避難場所として、特に災害弱者となる高齢者が今後益々増加することを見据えると、これらの人々が、肉体的にも精神的にも少しでも寛げる場所を用意することが必要と考える。</p>	<p>ロビーについては、様々な目的で訪れる人が滞在しやすいような空間にするとともに、丸亀城をはじめとする丸亀の歴史文化や観光資源とも連携をはかりながら、様々な情報発信をしていきます。</p> <p>軽食を提供できるような場については、(仮称) みんなの劇場で行う事業方針にそった事業が継続的に行えるような諸室の確保を優先したため、計画には入っておりませんが、市民交流活動センターに整備予定のカフェや、中心市街地において、民間事業者が提供する飲食物のサービスをご利用いただくこととなります。</p> <p>(仮称) みんなの劇場では、それらを持ち込める飲食可能なスペースを設けるなど、運営面の工夫を検討していきます。</p>
3	<p>■基本理念は理解するが、炉を切った 100 名以上収容できる本格的な和室が計画(案)に入っていないことに困惑している。</p> <p>ホール 1 階のロビー的な部分には気軽に立ち寄れる場所を意識して、丸亀市の著名人など紹介をして、子供たちにも丸亀にこんな人がいたということを当たり前知ってもらおう展示場を作り、その展示場に琴平町内のホテルのロビーにあるような、一般の方にも茶道の敷居が高く感じられないようできて、歴史も感じられる空間を作ってはどうか。</p> <p>また、お城に来た方、ホールに訪れた人が、ちょっとお茶でも食事でもできる場所は必要だと思う。それらを、水屋がある和室、食堂施設ができることで、(仮称) みんなの劇場が、みんなに身近な施設になり、丸亀市民の憩いの場を目指すべきではないか。</p> <p>更に時間に余裕がある方用に、最上階にガラス張りで見晴らしがいい(待合もとれる、炉をきった、水屋を併設した)和室大広間を設置すべきだと思う。そこからは、お城に上がれない</p>	

	<p>高齢者や障害者でもお城を目の前に見晴らせる。その施設利用料は、私的な会の利用以外は無料開放を希望する。ホールを訪れたお客様が公演前にほっと一息ついて時間待ちもできる。お城まつりには、そこを茶会会場にすれば、茶会3千家で協力して、祖母の代より毎年続けてきた伝統にのっとり、丸亀市の歴史ある街に相応しい行事ができると思う。</p> <p>茶道の全国大会や記念茶会など開催される場合には、同じ場所に2席くらい最低50人は収容できる広間が待合、水屋とあわせて必要になるため、現状では丸亀の開催場所は取れず、善通寺さんでしか開催できない。</p> <p>さらに、最近、元気な高齢者の間での流行は、あまりお客がいない喫茶でお茶を飲みながら何気ないおしゃべりをする事だ、とのこと。時間に限られずゆっくりできる場所があり、高齢者が家に閉じこもることなく社会に出ていくことは、フレイル予防にもなる。最近よくいわれる、子供も高齢者も含め、個食の予防、気軽に利用できる和室のある(仮称)みんなの劇場が、まさに一人にしないことにつながるのではないか。</p> <p>※1.2と同じ内容があるため一部省略</p>	
4	<p>■畳の和室、それも茶会の持てる和室が「(仮称)みんなの劇場」にあることを強く望む。</p> <p>日本の伝統文化の中でも茶道は、茶道の作法だけではなく、所作、礼儀、陶器や漆芸などの道具、花、軸に書かれている言葉など、日本の芸術文化が全て含まれる。</p> <p>茶道人口は全市民に対して少ないかもしれないが、子供たちや、茶道経験のない人たちにも気楽に和菓子と抹茶(興味のある人にはお道具等も)を楽しんでもらえるものだ。</p> <p>また、木造、畳の良さもいろいろと言われており、畳の上でゴロゴロするだけで心のケアになるし、正座をすると自然と顔つきがかわってく</p>	

	<p>る。</p> <p>丸亀城の目の前に建つ「(仮称) みんなの劇場」が、丸亀市民も含め、どこから来る人にも有効に使え、「おもてなし」ができるようになってほしい。日本の文化と知恵、技術が誇れる建物となり、他の都市のお手本となるような会館になってほしい。</p> <p>※1～3 と同じ内容があるため一部省略</p>	
5～19	<p>お城まつり協賛のお茶会をしていたので、和室や茶室を作ってほしい。</p> <p>※1～4 と同じ内容があるため一部省略</p> <p>※他に、同様の意見 14 件</p>	
20	<p>■P28 大ホール舞台、舞台周りについて、演技エリアとしてはいいが、ステージ奥行きは間口の 1.2 倍にしてほしい。</p>	<p>舞台、舞台周りについては、様々な演目に適合するよう検討しておりますが、基本設計時に、舞台を使用する様々な分野の活動者と十分協議を行い、ご意見についても検討を行います。</p>
21	<p>■直線花道の設置についても検討をお願いしたい。</p>	
22	<p>■オーケストラピットについては、使用頻度にかかわらず、本物の舞台としてオーケストラピットは絶対に必要だと思う。使用頻度が少ないのであれば、考慮するとの提案にある「一部を昇降式」にすればいいと思う。</p>	<p>オーケストラピットを設置することを検討していますが、維持管理費を抑えられるような仕様も併せて検討していきます。</p>
23	<p>■丸亀市には 1,000 人規模のホールを有するアイレックスがある。1,000 人を満席にできる市の文化団体や自主事業がそんなに沢山あるのか。「(仮称) みんなの劇場」大ホールの収容人数を減らすか、アイレックスを音楽専門、「(仮称) みんなの劇場」は演劇やミュージカル専門など各々の専門性があればと思う。</p> <p>また、小ホールは演者から近いことで臨場感や一体感を味わえることが長所であることから、可動式で組換え可能な客席であることを希望する。座席を自由に組みなおせる客席と舞台空間があることで、創作者は自由な創造ができるようになり、利用率も利用者の満足度、リピート率も上がると思う。</p> <p>個人的には、リハーサル室のような多目的スペ</p>	<p>(仮称) みんなの劇場のホール規模に関しては、様々な要素をもとに検討を進めています。</p> <p>市民利用だけを考えるのであれば、1,100 席から 1,300 席というのは大きすぎるとも考えられますが、(仮称) みんなの劇場は、整備計画(案) P14 から P16 に記載した事業方針に沿った自主事業及び貸館事業を展開していくこととしており、多くの市民が様々な舞台芸術を鑑賞、体験できる環境を整備することも重要であると考えています。</p> <p>また、文化団体等が開催する各種大会や、学校行事、市の行事等にも対応で</p>



	<p>ースを公演に使用する機会が多かったが、県内の多目的スペースは照明機材や音響機材は十分にあって、機材を吊るすために必要なバトンが設置されていないことが多く、公演での利用ができない空間になっている。少なくとも演劇に利用するのであれば、バトンは必須。</p> <p>従来どおりの「ハコモノ」建築を避けるためにも、実際に使用する演劇、音楽、美術、照明、音響のプロのアーティストや専門家の現場の意見を取り入れた上で、行政と運営団体、プロのアーティストが建築段階から関与し、協働で進めていただきたい。</p>	<p>きることも公の施設としての役割であると考えています。</p> <p>今後検討を進めていく基本設計の段階で、集客区分に応じて、全席の使用だけでなく、1階席のみを使用できるなど、柔軟なしつらえや利用規則を検討していきます。</p> <p>さらに、市内南部に位置するアイレックスと（仮称）みんなの劇場は、地理的要因や施設の仕様等を含め、役割分担を行う必要があると考えており、来年度から検討を進めていく事業計画の中で明確にしていきたいと考えています。</p> <p>小ホールについては、舞台と客席がより近い鑑賞環境が求められる公演に対応するものとして整備しますが、整備後に必要となる維持管理費や鑑賞環境を考慮し、固定席としています。</p> <p>一方で、一部の客席を取り外し可能とすること等で、幅広い演出が可能となるよう検討していきます。</p> <p>リハーサル室については、小規模な公演が行えるような設備と機材が設置可能なしつらえとする予定ですので、小演劇の公演が行えるような設備と機材が設置できるようなしつらえも検討していきます。</p> <p>設計段階においては、様々なジャンルに精通した専門家と協議を重ねていくことも予定しています。</p>
--	---	---

(5) 管理運営計画についてのご意見【1件】

No.	ご意見	市の考え
1	<p>■人件費について、1年間560万円×20名で1億2千万円と試算しているが、高すぎると痛感している。</p>	<p>（仮称）みんなの劇場は、基本理念を達成するために、あらゆる対象に対して様々な事業を劇場内外で行っていきま</p>

		<p>す。</p> <p>そのために、必要となる人材や能力も専門性を必要とするものが多くなります。専門性を持った優秀な人材が、働きたいと思える職場環境の一つには、当然ながら所得面も含まれると考えています。</p> <p>本計画（案）の作成段階では、職員数や、職員の給与水準について決定できるだけの要素が揃っておりませんので、仮に必要な職員数を 20 名と仮定し、給与については、平成 29 年度の市の職員給与の平均値を代入し試算することで、目安として示したものです。</p> <p>劇場で行う詳細な事業計画や運営組織等の検討にあわせて、可能な限り運営・維持管理費の低減に努めていきます。</p>
--	--	---

(6) その他の意見【1件】

No.	ご意見	市の考え
1	<p>■地産地消と同じような視点で地元の仕事は地元の業者さんに参加していただきたい。維持管理も地元の職場の確保だと考える。</p>	<p>劇場、音楽堂等の設計施工及び維持管理は、専門的な知識や技術、経験を有するものもあることから、全てを地元の事業者にお問い合わせすることは難しいと考えておりますが、地元事業者の参入についても配慮していきます。</p>